



常磐大学創立40周年記念国際シンポジウム

複合的危機における地域社会の安全・安心 ～これからの地域社会のあり方を考える～



## セッション2 地域社会の安心

# 複合的危機における人材育成

－ Society5.0 と 生きる力 －

常磐大学 人間科学部 教育学科 特任教授

柴原 宏一

## 学校教育において

Q 複合的危機への対応を想定した社会を構成する人材育成をどのように行っているのか？

Q その時に育んでいるレジリエンスの具体は？

※レジリエンス：困難をしなやかに乗り越え回復する力

Q その過程で「社会資本(Social Capital)」は育まれるのか？

※社会資本(Social Capital)：社会的な繋がり(ネットワーク)とそこから生まれる規範・信頼／ロバート・パットナム



2016年 (平成28)	<ul style="list-style-type: none"><li>● (第5期)科学技術基本計画を閣議決定 <b>Society5.0</b> </li><li>● 「小学校段階におけるプログラミング教育の在り方について(議論の取りまとめ)」を公表 <b>第4次産業革命</b></li></ul>
2017年 (平成29)	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 保育所保育指針を告示</li><li>■ 幼稚園教育要領を告示</li><li>■ 幼保連携型認定こども園教育・保育要領</li><li>■ 小学校学習指導要領を告示</li><li>■ 中学校学習指導要領を告示</li></ul>
2018年 (平成30)	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 高等学校学習指導要領を告示</li><li>● 「Society5.0に向けた人材育成 ～社会が変わる、学びが変わる～」を公表 <b>Society5.0</b> <b>学校ver.3.0</b></li></ul>
2019年 (令和元)	<ul style="list-style-type: none"><li>● GIGAスクール実現推進本部を設置 <b>一人一台端末</b> <b>個別最適化</b> <b>クラウド</b> <b>ネットワーク</b></li></ul>
2021年 (令和3)	<ul style="list-style-type: none"><li>● 「「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」を公表 <b>オンライン教育</b> <b>ハイブリッド授業</b></li></ul>



複合的危機に適切に対応できる  
強靱性(レジリエンス)を備えた社会

**Society5.0**

- 学習指導要領等
- Society5.0に向けた人材育成
- 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

育成を図るべき「三つの資質、能力」

- 知識及び技能の基礎
- 思考力、判断力、表現力等の基礎
- 学びに向かう力、人間性等

その社会を担う一人一人の  
強靱性(レジリエンス)の育成

**「生きる力」の育成**



授業の中で

「教えて」「いいよ」「ありがとう」  
「どうしたの」「何か困っていることある」  
と言える

他者との協働で育つ「生きる力（様々な情報や出来事を受け止め、他者と一緒に生き、課題を解決していくための力）」を育む上で必要な行為

「複合的危機に対する「レジリエンス」」を育てる上で必要な行為



**Society5.0において、ICTはもはやインフラです。そして、一人一台端末が実現している現在、授業デザインも一斉授業から変わっていくはずです。**

「やってごらん」と促すと、1人でどんどん取り組む子もいますが、何をどうすればいいかわからず固まってしまいう子もいます。ですから私は、プログラミング授業の前に必ず援助要請と能動的援助の大切さを子どもたちに話しています。わからなくて困ったときは教え合おうね。「そんなこともわからないの」なんて傷つくことを言う子はいないよね。教えれば「ありがとう」が返ってきてお互いに温かい気持ちになれるよ、と伝えたいので、そういう場面があったら同じように声をかけてあげるのです。そうやって子どもたちの行動の価値づけをするのが、プログラミング授業における先生の重要な役割だと思います」

<https://toyokeizai.net/articles/-/398163>「東洋経済 ON LINE」より

**ICTを使った授業、教え合う授業を参観して感じることは、子どもたちの表情が明るいことです。**

複合的危機に適切に対応できる  
強靱性(レジリエンス)を備えた社会

**Society5.0**

学習指導要領等に基づく、子ども  
たちが「主体的、対話的で深い学  
び」を実践できる場の提供

- 学習指導要領等
- Society5.0に向けた人材育成
- 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

育成を図るべき「三つの資質、能力」

- 知識及び技能の基礎
- 思考力、判断力、表現力等の基礎
- 学びに向かう力、人間性等



その社会を担う一人一人の  
強靱性(レジリエンス)の育成

**「生きる力」の育成**

「主体的、対話的で深い学び」を  
実践できる場を提供できる授業デ  
ザインを工夫



子どもたちに予測困難な時代を生きていくための力、「生きる力」を育む



複合的危機に対応できるレジリエンスを備えた人材の育成